

|       |       |      |         |               |           |
|-------|-------|------|---------|---------------|-----------|
| 領域    | 統合分野  | 授業科目 | 在宅看護論 I | 単位 (授業時間/時間数) | 1 (28/30) |
| 開講年次  | 2年次   | 開講時期 | 前期      | 後期            | 通年        |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 |         |               |           |

### 授業のねらい

医療的ケアや看護が必要であっても在宅療養が可能となったが、在宅療養への移行や継続にあたっては、療養者本人だけでなく家族や在宅生活をサポートするさまざまな職種が重要な役割を果たす。そのため、在宅看護の対象を療養者本人だけでなく家族を含めてとらえさせる。また、関係職種との連携や社会資源の活用の重要性を学ばせる。

また、在宅療養者の権利や在宅看護活動の基本概念を学び、施設内の看護活動とは異なる在宅看護の特性を学ばせる。

### 授業目標

在宅看護の看護活動、関係職種と社会資源、在宅看護の機能と役割について理解する。

### 授業概要

- |   |   |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 在宅看護の対象、目標 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 在宅療養の対象</li> <li>2) 在宅療養の成立条件</li> </ol> </li> <li>2. 在宅療養者への看護活動 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 在宅看護のめざすもの</li> <li>2) 在宅看護と家族</li> </ol> </li> <li>3. 在宅看護の実際 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 訪問看護の特徴</li> <li>2) 訪問看護ステーション</li> <li>3) 訪問看護の実際</li> <li>4) 訪問看護の記録</li> </ol> </li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>4. 関連職種との連携 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地域包括ケアシステム</li> <li>2) ケアマネジメントと看護</li> <li>3) 関連職種との連携</li> </ol> </li> <li>5. 在宅ケアを支える制度と社会資源 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 社会資源活用における看護の役割</li> <li>2) 在宅の医療保険制度</li> <li>3) 高齢者の在宅療養を支える制度と社会資源</li> <li>4) 障害者の在宅療養を支える制度と社会資源</li> <li>5) 在宅難病療養者を支える制度と社会資源</li> <li>6) 子どもの療養者を支える制度と社会資源</li> <li>7) 在宅療養者の権利擁護のための制度と社会資源</li> </ol> </li> </ol> |
|---|---|

### 授業の進め方

講義 (スライド・ビデオ・プロジェクター使用)

### 教科書

ナーシング・グラフィカ 在宅看護論 地域療養を支えるケア (メディカ出版)  
写真でわかる訪問看護 (インターメディカ)

### 参考図書

### 評価方法

終講時 客観的テスト (100点)  
試験時間は時間数に含む。